

## 鹿児島地区漁業士会による“ユズリ葉保育園”での出前授業

令和2年9月18日(金)  
水産技術開発センター企画・栽培養殖部

昨年度の4回の食育支援に引き続き、鹿児島地区漁業士会が、鹿児島市上荒田町にあるユズリ葉の杜保育園を訪ね、食育支援プログラムを実施しました。

まず最初に、大日本水産会が作成した幼い子供達でも理解出来るパンフを用いて鹿児島地域振興局の上野係長がおサカナのお話をしました。

次に、今年からマダイの解体実演及び父兄の捌き方教室は、いお・かごしま魚食普及拡大推進協議会の方々にお願ひし、見事な包丁捌きに園児達も先生方も興味津々でした。参加した父兄が悪戦苦闘しながらマアジを捌いている間に、園児達は楽しくキビナゴを捌いたり、カツオの腹皮をセラミック包丁でカットしました。

お昼ご飯用に、園児達がキレイ?に捌いたキビナゴをカレー粉で味付けして唐揚げにし、不揃いにカットされたカツオの腹皮をソテーしつつ、同時にサバの缶詰を使った炊き込みご飯を準備する間に、園児達は定置網で今朝獲れたトビウオやヤガラなどの様々な種類の魚をワイワイ騒ぎながら沢山触りました。

待ちに待った昼食は、キビナゴの唐揚げ・カツオ腹皮のソテーにサバの缶詰の炊き込みご飯とマダイの味噌汁をお代わりもして大好評でした。

- 1 日 時……令和2年9月18日(金) 10:00~13:00
- 2 場 所……ユズリ葉の杜保育園/鹿児島市 上荒田町
- 3 対 象……3~5歳児25名+父兄等/約30名
- 4 内 容……サカナの話, マダイ捌き実演, キビナゴ捌き体験, 魚タッチ等
- 5 試 食……キビナゴ唐揚げ, カツオ腹皮ソテー, サバ缶詰炊き込みご飯, マダイ味噌汁

